

第6回中野市保育所運営審議会会議録（要旨）

○ 日 時 平成19年10月24日（水） 13:25～13:57

○ 場 所 市民会館42号会議室

○ 出席した者

・出席した委員

宮寄三雄委員 渡邊由美子委員 柴本貞夫委員 高田幸江委員

石澤さとみ委員 久保賢一委員

・事務局として出席した者

子ども部長 高野澄江 保育課長 塚田栄一

保育課課長補佐兼施設係長 花岡隆志 保育課保育係長 土屋龍昭

保育課施設係主査 丸山 晃

○ 欠席した者

・欠席した委員 高相淳子委員 外谷良弘委員

○ 傍聴した者 1人

・子ども部長が各委員の出席に対し礼を述べ、審議会を開会した。会長にあいさつ及び議事進行を依頼した。

・会長が前回までの会議経過及び今日の会議内容に触れながらあいさつをした。

協議事項

(1) 第5回会議の会議録案について

・会長が、修正箇所などについて各委員の発言を求めたが、発言がなく、案のとおり了承された。

(2) 中野市保育所整備計画（案）の答申案について

・保育課長補佐が、前回会議において委員から質問のあった、園児の発熱時の対応については、37.5度以上の場合で保護者へ連絡し、38度以上の発熱で迎えを依頼するというので、各園とも運用している状況であると報告した。

・保育課長補佐が、資料9「中野市保育所整備計画（案）の答申案」の内容について説明した。

◎ 会 長 只今の説明の中で、質問、意見があればお願いしたい。

◎ 委 員 私は、主任児童委員の部会長として委員となっており、主任児童委員の代表として出席している。昨日、主任児童委員の部会があったため、最近の中野市の子育て支援の状況として、保育所整備について情報を提供したところ、意見が出さ

れたので報告しておきたい。まず、たかやしろ保育園を建設する際は、各戸を対象にアンケート調査が行われたが、今回はそういうことをされたのか、という意見があった。やはり説明会の参加者が少なかったということが少し懸念されるわけである。広報や有線放送で随分流されていたが、今のところは、なかなか関心がないという状況であるのだと思う。今、保育園に通園させている保護者にとっては、新たに整備される頃には関係がなくなるわけで、アンケートというか、本当に地域の意見を酌んでもらったのかという疑問が出された。また率直に、まちの中の保育園が少なくなることについて、寂しくなり、まちに子どもの声がなくなってしまうと心配される意見があった。それから、結婚はしているが子どもがなく、将来的に子どもを持ちたいと思っている市民が、意見を言うことができる機会があればよいという意見もあったので、報告したい。

- ◎ 保育課長 たかやしろ保育園をつくる際のアンケートについては、確認しないとわからないが、今回は、昨年度、保育所あり方検討懇話会を設置し議論いただく中で、提言されているということが前提としてあり、また説明会への出席者が少ないということについては、市として可能な広報はしてきたと考えているので、ご理解いただきたいと思う。まちから子どもの声が聞こえなくなるという件については、設置可能な場所を検討する中で、やむを得ないものと考えている。将来的に子どもを持ちたい方の意見についても、関心があるかどうかという点は図りきれないが、関心があるとすれば、説明会の中で、その方が意見を言ってもらえる機会は設けてきたと考えるので、よろしく願いたい。
- ◎ 会長 アンケートの実施については、確認できないが。
- ◎ 委員 アンケートが実施された覚えはある。科野・倭地区の関係する区を対象に行われたのだと思う。
- ◎ 保育課長 いずれにしても、新たに園舎を建設する時には、何らかの形で付帯意見にもあるとおり関係する方から意見を聞いて、施設については良いものをつくっていきたいと考えている。
- ◎ 会長 他に意見はあるか。
- ◎ 委員 確認であるが、前回会議の中で、財政計画は公表されていないけれども、事業費が2園で約10億円から11億円ということで、高額な投資になるわけであるが、どうせつくるのであれば、費用をかけて、保育ニーズに応えた良いものを期待する一方、費用をかければきりが無い話であり、どの辺が妥当なのか、市の財政力に応じて最も効率的な施設にしなければならないと思うが、答申を受けた後に、市においてコンペティション（一定課題による設計の公募）にかけて、設備等についても検討されていくということでよいか。また、現在の園舎については、みよし・西町・みなみ保育園も木造で、建築年度が平岡保育園以後は、非木造であるが、今回の整備では、それぞれ2, 200㎡、1, 600㎡の規模となるが、原則的には

鉄骨造、鉄筋コンクリート造といった耐火構造のものと理解してよいか。また前回会議にもあったが、駐車場を広く設けてほしいという点については、付帯意見には記されていないが、現計画案の中で駐車場を広く確保することとしているということによいか。さらに、示された事業費の中には、園舎以外の駐車場や外構、園庭、備品関係に係る費用も含まれているということによいか。

- ◎ 保育課長 平成21年度から実施設計に入る予定であり、来年度については、整備するための検討期間となる。答申案の中にもあるが、他市の先進的な施設などを見る中で、事業費との関係もあるが、できる限り良いものをつくりたいと考えている。構造については、主体部は当然耐火構造となるが、できるだけ木質化を図りたいと考えている。白馬村の新園では、鉄骨がすべて木で覆われていたり、塩尻の新園は遊戯室の床や腰壁に間伐材を利用している例も見えてきている中で、例えば、園児を素足で歩かせることができるような木材利用を図っていきたいと考えている。事業費については、道路整備については別であるが、外構など、すべてを含めた費用としてみているものである。
- ◎ 会長 他にあるか。要望事項の内容について修正意見などがあればお願いしたい。
- ◎ 委員 率直な感想であるが、ここで答申として今後の方針が出されるということで、自分がそこに関わった事を考えると責任が重く、とても気が重いわけである。
- ◎ 会長 他に意見はあるか。なければ、この案に示されたとおりにしてよいか。(反対意見なし)では、この案のとおり答申するという事で承認されたこととする。
- ◎ 保育課長補佐 答申内容について決定いただいたが、次に諮問した市長へ答申をしていただくことになるが、その方法について協議願いたい。一つは、案のとおり決定されたので、正副会長から市長へ答申していただく方法、もう一つは、全員揃って市長に答申する方法が考えられるが、そのようなことを決めていただきたい。
- ◎ 会長 只今の答申方法について、各委員の意見をお願いしたい。
- ◎ 委員 正副会長には大変ご苦労いただいたが、答申は正副会長から市長にお願いできればと思うが。
- ◎ 会長 他の委員はどうか。(発言なし) それでは、正副会長において答申するという事で了解いただきたい。

4 その他

- ・ 保育課長補佐が、当初の予定では、もう1回会議を開催する予定であったが、答申が決定されたことから次回会議は開催しないこととし、答申については、正副会長と市長の日程を調整して行い、各委員には答申の写しを送付する旨説明した。
- ・ 会長が、長期間にわたる審議に対し、各委員に礼を述べた。
- ・ 子ども部長が、審議会からの答申を受け、中野市保育所整備計画を決定し、その遂行にあたっては、審議会からの要望を尊重していくことを説明した。また、今後も保育園運営について、指導、協力を依頼し、これまでの審議に対して礼を述べ、閉会とな

った。

(参考)

たかやしろ保育園建設の際のアンケート調査について、会議終了後、確認したところ、市が実施したものではなく、統合対象となる保育所の保護者会や同地区の区、地区区長会が（保護者や地区住民を対象に）行っております。